決裁	承認	確認	起案

稟議書

件名	業務システムのクラウド移行について（サーバー更新に代わる対応）		
起案部署		起案者	
起案日	年　月　日	決裁希望日	年　月　日

1. 稟議の趣旨

> 現在使用している業務システムのサーバーについて、機器の買い替えを行わず、同じ業務システムを Microsoft Azure 上の専用 Windows サーバーへ移行し、月額利用の形に切り替えることを申請します。
>
> 業務システムそのものの改修は行いません。社員の操作方法も変わらないため、再教育は発生しません。

2. 申請金額（税抜）

区分	初期費用	月額	年額（12 か月）
基本サービス（　　コア）	円	円	円
追加オプション	円	円	円
移行作業費	円	—	円
合計	円	円	円

※ 初月の利用料は無料。年額でのお申し込みは 10%割引。標準価格はサービス資料の 4 に記載。

3. 実施時期

決裁後、環境の用意に約 3 営業日。その後、移行作業および動作確認を行い、順次稼働。

初月は無料のため、まず 1 か月、実際の業務で検証したうえで継続可否を判断できます（月単位で解約可能）。

4. 添付資料（下の「サービス資料」の 1〜5）

資料 1	現状の課題と、対応しない場合のリスク
資料 2	3 つの選択肢の比較
資料 3	導入により得られる効果
資料 4	費用の明細と、現状費用との比較
資料 5	安全面・導入の進め方・想定される質問への回答

サービス資料　（稟議書の添付）

1. 現状の課題と、対応しない場合のリスク

現在、業務システムは社内の機械室に設置したサーバー機器で稼働しています。この構成のまま運用を続けた場合、次の課題があります。

課題	内容	対応しない場合
サーバーの調達難	注文から納品まで 3 か月以上かかることがある	更新時期を自社で決められない
部品の入手難	保守期限を過ぎた機器は、交換部品の取り寄せに半年かかることがある	故障から復旧までの間、業務が停止する
定期的な設備投資	5 年前後ごとに、まとまった投資判断が必要	数年ごとに同じ検討を繰り返す
機械室の維持	電源・空調・設置場所の確保が必要	維持費と管理の手間が続く
社外からの利用	VPN 機器を経由する必要がある	機器の老朽化・保守終了・買い替えが発生する
災害・停電	機器が社内にあるため、被災すると業務が止まる	事業継続の備えが不十分なまま

> **安全面について**　社外から社内サーバーへ入るための VPN 機器の弱点を突いた侵入被害が、国内の大手企業でも複数報じられています。社内に VPN 機器を置かない構成に変えることで、この経路そのものが無くなります。

2. 3 つの選択肢の比較

比較項目	A. サーバーを買い替える	B. クラウド用に作り直す	C. 本申請（Azure へ移す）
いまの業務システム	そのまま使える	作り直しになる	そのまま使える
着手から稼働まで	機器の納品待ち	年単位になりがち	約 3 営業日で環境が用意される
社員の操作	変わらない	変わる	変わらない
再教育・マニュアル改訂	ほぼ不要	発生しやすい	ほぼ不要
サーバー機器の調達	3 か月以上待つ	不要	不要
故障・部品の手配	半年かかることも	不要	不要
VPN 機器	必要	不要	不要
次回の更新	また必要	不要	不要
費用の性質	設備投資（資産）	開発投資	月額の経費
途中でやめる場合	機器が残る	開発費が残る	月単位で解約できる

※ 会計上の取扱いは、自社の方針および顧問税理士の判断によります。

> **結論**　A は調達の見通しが立たず、次回の更新も再び発生します。B は業務システムの作り直しに年単位を要し、社員の再教育も必要です。C は現行のシステムと操作を変えずに、設備投資と更新の判断そのものを無くせるため、C を申請します。

3. 導入により得られる効果

（1）設備投資と、更新の判断が無くなる

サーバー機器を保有しないため、数年ごとの買い替えの検討・稟議・入替作業が無くなります。費用は月額の経費に一本化されます。

（2）機器の故障で業務が止まらない

Microsoft のデータセンターで稼働します。機械室の電源・空調・機器の寿命を社内で気にする必要が無くなります。

（3）どこからでも、同じ業務環境が使える

会社の席でも、自宅でも、出張先でも、同じ画面がそのまま開きます。海外拠点・海外出張からの利用も可能です。災害や感染症などで出社できない場合にも、業務を継続できます。

（4）社内に VPN 機器を置かずに済む

VPN 機器の購入費・保守費が無くなり、その機器を経由した侵入の経路も無くなります。

（5）社員の負担が増えない

手元のパソコンでアイコンを 1 つ押すと、これまでと同じ業務ソフトが開きます。操作が変わらないため、再教育もマニュアルの作り直しも発生しません。

（6）人数・性能を、あとから変えられる

機器の買い替えを伴わないため、業務量に合わせた増強や、その後の縮小ができます。

4. 費用の明細と、現状費用との比較

標準価格（税抜）

プラン	コア数	メモリ	C ドライブ	初期費用	月額
2 コア	2	8GB	SSD 128GB	50,000 円	58,000 円
4 コア	4	16GB	SSD 256GB	50,000 円	89,000 円
8 コア	8	32GB	SSD 512GB	50,000 円	175,000 円
16 コア	16	64GB	SSD 1TB	50,000 円	344,000 円

追加オプション	初期費用	月額
多要素認証（ワンタイムパスワードによる 2 要素認証）	100,000 円	15,000 円
ファイルサーバー（HDD 2TB・Windows のアクセス権限が使えます）	66,000 円	25,000 円

※ 初月の利用料は無料です。※ 月単位で解約できます。※ 年額でのお申し込みは 10%割引です。

※ Windows のライセンス料は月額に含まれます。別途購入は不要です。

※ AI 生成ツールや画像・動画編集ソフトなど、高負荷なアプリケーションを複数人で同時に使用する場合は、上位プランを推奨します。

現在かかっている費用（記入欄）

項目	年額（税抜）
サーバー機器の購入費（5 年で割った額）	円
サーバー・OS の保守費用	円
VPN 機器の費用・保守費用	円
バックアップ機器・媒体の費用	円
機械室の電気代・空調費	円

障害対応・立会いに要している人件費	円
現状費用の合計	**円**
本申請の年額（サービス資料の 4 上表より）	円
差額	**円**

> **金額に表れにくい効果**　機器の故障で業務が止まらないこと、社外から安全に業務ができること、数年ごとの更新の検討そのものが無くなること。金額の比較と併せてご判断ください。

5. 安全面・導入の進め方・想定される質問

安全面

項目	内容
稼働する場所	Microsoft Azure（Microsoft 社のデータセンター）上の、自社専用の Windows サーバー。他社と共用しない専有環境
社内の VPN 機器	不要（機器の老朽化・保守終了・侵入経路の心配が無くなる）
本人確認の強化	ワンタイムパスワードによる 2 要素認証をオプションで追加可能
アクセス権限	Windows の権限設定をそのまま使用可能（部署・役職ごとの閲覧制限など）
データの所有	自社に帰属。解約時には持ち出し可能
提供体制	設計・構築・移行・運用まで、Microsoft AI クラウドパートナーである株式会社アプリッピリが担当

導入の進め方

手順	内容	目安
1	現在の環境と業務システムの確認	相談の中で
2	Azure 上の Windows サーバーの用意	約 3 営業日
3	業務システムとデータの移行、動作確認	環境により異なる
4	利用者へアイコンを配布し、運用開始	—

想定される質問と回答

Q. いま使っている業務システムは、作り直しになりますか。

A. いいえ。現在の Windows 版のまま、Azure 上の Windows サーバーへ入れて使用できます。画面も帳票も入力の手順も、これまでどおりです。

Q. 社員のパソコンに、ソフトを入れ直す必要はありますか。

A. 多くの場合、必要ありません。業務ソフトはサーバー側に入れて全員で使用します（ソフトの作りによっては、端末側に必要なものが残ることもあります）。

Q. インターネットが止まったら、業務も止まりますか。

A. その拠点からは接続できなくなります。一方で、他の拠点・自宅・携帯回線など別の経路からは、同じ環境にそのまま入れます。機器の故障で全社が止まる現在の構成よりも、業務を継続しやすい形です。

Q. データはどこにありますか。誰のものですか。

A. Microsoft Azure 上の自社専用環境にあります。データは自社のものであり、解約時には持ち出せます。

Q. 途中でやめられますか。

A. 月単位で解約できます。初月は無料です。

Q. 人数が増えたら、どうなりますか。

A. 人数・性能はあとから変更できます。機器の買い替えは発生しません。

Q. 社内に情報システムの担当者がいませんが、運用できますか。

A. 環境の設計・構築・運用は株式会社アプリップリが担当します。社内で機器の面倒を見る必要はありません。

サービス提供元
株式会社アプリップリ（Microsoft AI クラウドパートナー）
〒820-0202　福岡県嘉麻市山野 875-2
カスタマーセンター　050-5530-6203（平日 9:00-12:00／13:00-17:00）
本資料の記載内容および価格は、作成時点のものです。最新の内容はお問い合わせください。
Microsoft、Azure、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。